

お名前（ 佐藤 公哉 ）

滞在先（ 大船渡 ）

習った芸能（ 金津流浦浜獅子踊り、石橋鎧剣舞 ）



記者会見会場にて（右2番目）

1) 三陸の芸能を習ってみていかがでしたか？

素晴らしい経験でした。体の使い方、リズム、発声、太鼓の扱いなど創作のヒントを沢山いただきました。また地域社会と芸能の関係、震災被害からの復興との関係など、考えさせられる事も多かったです。



石橋鎧剣舞 太鼓を習う

2) 今回三陸に滞在してみていかがでしたか？良かった点、困った点をお聞かせください。  
（移動や食事、宿泊、練習場所など）

練習場所に関しては事前に情報がほとんどなく心配しましたが、結果的に大船渡教会さんのよい環境でやらせていただけました。移動、食事、宿泊などは特に問題はなかったです。



石橋鎧剣舞の伝承館で権現様を持って（中央）

3) 今回の三陸での AIR は、ご自身のアーティスト活動において、どのような影響、意味があると思われましたか？

成果発表として現地で演奏する予定だった楽曲は追って別の形で発表する予定です。今回のプロジェクトのために集まってもらったメンバーでの活動、郷土芸能に着想を得た創作も今後も続けていく予定です。



金津流獅子踊を習う（中央）

4) 今後も三陸の郷土芸能を習いたい、通いたいと思われたときに、AIR 以外にどのような方法や制度があると良いと思われますか？

AIR はとても良いと思います。また地域おこし協力隊のような形で 3 年程度のスパンで芸能に関わる人が入れるともっと良いのかなと思います。

現地に一定期間滞在して直接習える形が一番ですが、映像や文書の資料、レクチャー動画などがオンラインで利用できるようになったら素晴らしいと思います。



金津流獅子踊の装束を着て記念撮影（左）

コロナウイルス感染症問題の長期化も懸念されますので、ウェブ上で触れられる郷土芸能の情報も多くなれば嬉しいです。

5) 上記以外にご意見やご感想がございましたら、自由にお書きください。

成果発表が中止になり残念ですが、今回制作した楽曲はウェブ上での発表も考えております。大船渡のみなさんにもぜひ聴いていただけたら嬉しいです。問題が収束した折には必ずまた訪れたと思っています。

三陸国際芸術推進委員会事務局